

# ボランティアのつどい (2月23日) 記録まとめ

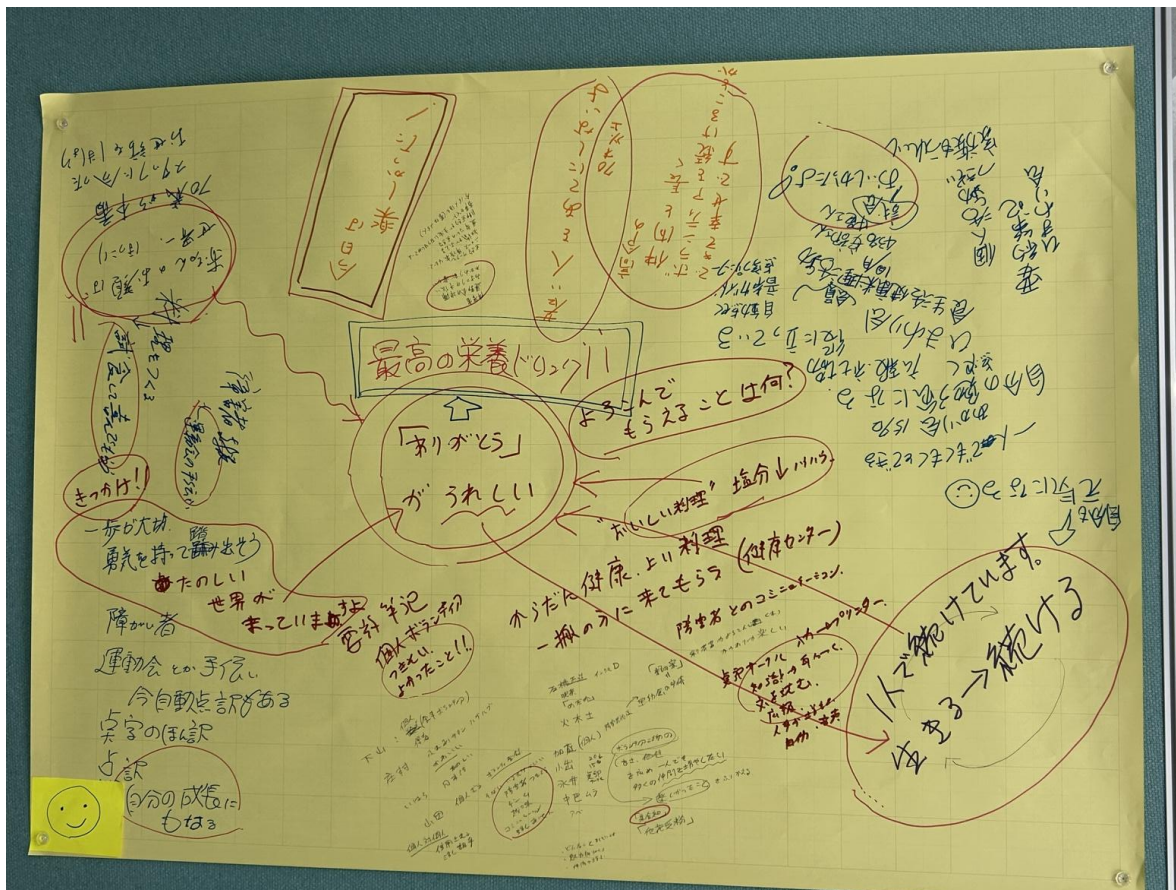
## 1. 概要

2月23日に開催された「ボランティアのつどい」において、参加者の皆様に9つのテーブルに分かれて、それぞれのテーブルで今年度のボランティア活動を通じて『よかったこと』『感じたこと』『大切にしたいこと』を自由に記述していただきました。

本資料は、上述の自由記述を基に現状と今後を分析したものです。

## 2. 各テーブルの記録

### 2.1. テーブル1



### 2.1.1. 主な記述内容

- 「ありがとう」がうれしい
- 最高の栄養ドリンク
- よろこんでもらえることは何かを考える
- からだの健康、よい料理
- おいしい料理／塩分ひかえめ
- 一般の方にも来てもらう（健康センター）
- 障がい者とのコミュニケーション
- 点訳サークル 知活！→身につく
- 文字を読む広報
- 1人で続けています。生きる→続ける ←自分も元気になる
- 料理をつくる→試食して喜んでもらう
- 障がい者支援→運動会の手伝い
- 一歩が大切／勇気をもって一歩を出す
- たのしい世界が待っていますよ
- 要約筆記
- 個人ボランティア 付添いよかったこと！！
- 1人でもくもくできる
- あかり会 15名
- 自分の勉強になる
- 点訳、広報社協 役に立っている
- ひまわり会食生活健康料理活動 1回/月
- 試食 おいしかったよ！
- 高齢の仲間と長くボランティアを続けることができ幸せです
- 若い人をあてにしないよ 70歳以上
- 今日は楽しかった！
- 赤ちゃんの顔は世界一 ほっこり
- 70歳から本番 スタッフに合ったお世話をしましょう
- 個人活動 付添い 家族もうれしい

### 2.1.2. まとめ

#### ① 感謝・喜び・やりがい

### 該当意見

- 「ありがとう」がうれしい
- 最高の栄養ドリンク
- 試食「おいしかったよ！」
- 料理をつくる→試食して喜んでもらう
- 今日は楽しかった！
- 赤ちゃんの顔は世界一 ほっこり

### 要約

感謝の言葉や相手の笑顔が何よりの励みになっている。  
活動そのものが「心の栄養」となり、喜びや癒しを得ている。

---

## ② 健康・食生活支援活動

### 該当意見

- からだの健康、よい料理
- おいしい料理／塩分ひかえめ
- ひまわり会食生活健康料理活動（1回/月）
- 一般の方にも来てもらう（健康センター）

### 要約

健康づくりや食生活改善を大切に活動が中心。  
地域に広く参加してもらえる場づくりも意識している。

---

## ③ 障がい者支援・コミュニケーション支援

### 該当意見

- 障がい者とのコミュニケーション
- 障がい者支援→運動会の手伝い
- 要約筆記
- 点訳サークル
- 文字を読む広報
- 点訳、広報社協 役に立っている

### 要約

障がいのある方への支援（点訳・要約筆記・行事支援など）を通して、情報保障や社会参加の支援に取り組んでいる。

専門性を活かした継続的な支援が特徴。

---

#### ④ 個人ボランティア・付添い活動

##### 該当意見

- 個人ボランティア 付添い よかったこと！！
- 個人活動 付添い 家族もうれしい
- 1人でもくもくできる
- 1人で続けています

##### 要約

個人で地道に続ける活動も多い。

付添い支援は本人だけでなく家族にも喜ばれている。

静かに継続できる活動スタイルも大切にされている。

---

#### ⑤ 継続・生きがい・自己成長

##### 該当意見

- 生きる→続ける ←自分も元気になる
- 自分の勉強になる
- 点訳サークル 知活！ →身につく
- 高齢の仲間と長く続けられて幸せ
- 70歳から本番
- 若い人をあてにしないよ 70歳以上
- スタッフに合ったお世話をしましょう

##### 要約

ボランティアは「生きがい」や「健康維持」にもつながっている。

高齢者が主役となり、無理なく長く続けることを大切にしている。

学びや成長の機会としても認識されている。

---

#### ⑥ 前向きな姿勢・大切にしたいこと

##### 該当意見

- よろこんでもらえることは何かを考える
- 一歩が大切／勇気をもって一歩を出す
- たのしい世界が待っていますよ

## 要約

「相手目線」を大切に、まず一歩踏み出すことを重視。

活動を通じて前向きな世界が広がるというメッセージが込められている。

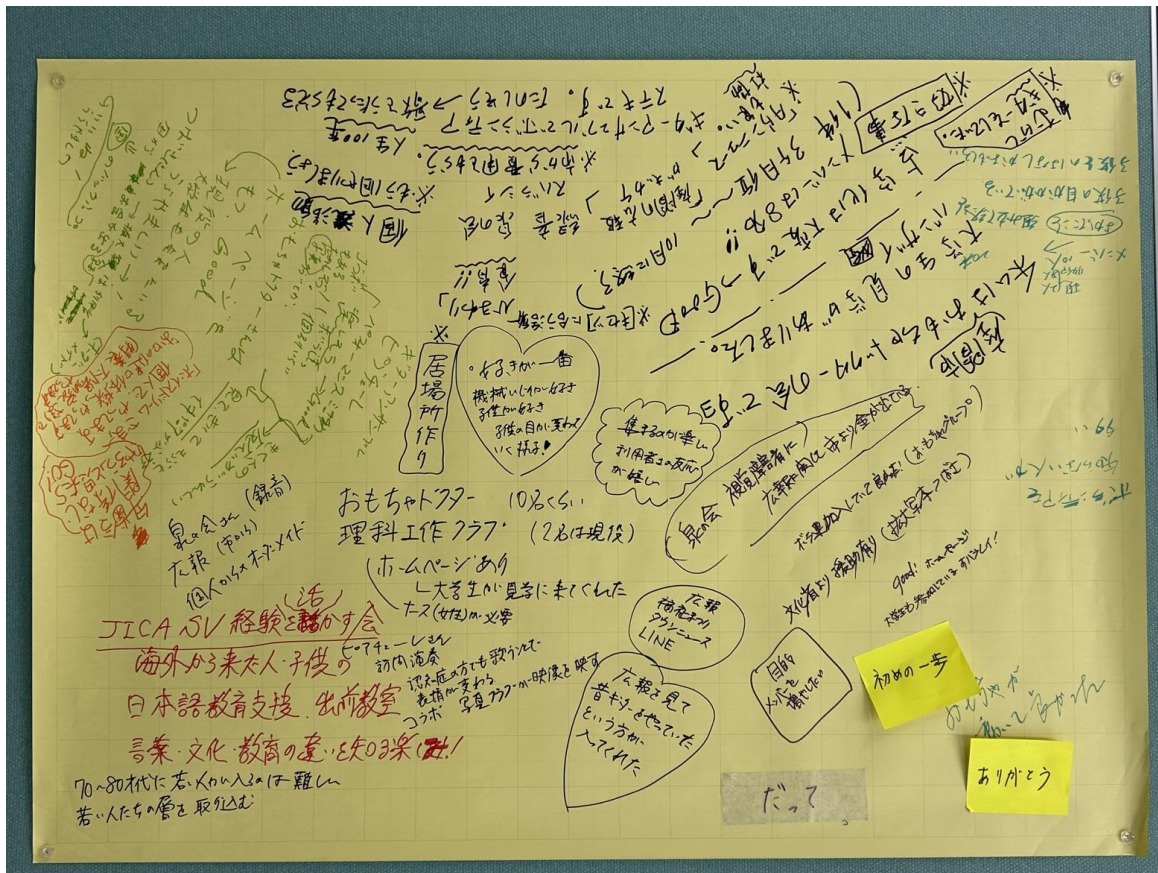
---

## 全体総括

今年度の自由意見から見える特徴は以下の通りです。

1. **感謝や笑顔が最大のやりがい**
  2. **健康・食生活・障がい者支援が中心的活動**
  3. **個人活動と専門性のある支援が両立**
  4. **高齢者が主体的に活躍している**
  5. **ボランティアは「人のため」だけでなく「自分の元気」にもつながっている**
-

## 2.2. テーブル2



### 2.2.1. 主な記述内容

- 泉の会さん（録音）
- 広報（市から）
- 個人からオーダーメイド
- JICAシニアボランティア経験を活かす会 海外から来た人・子供への日本語教育支援、出前教室を行う。言葉・文化・教育の違い知るのが楽しみ。
- 70～80 歳代に若い人が入るのは難しい
- 若い人たちの層を取り込む
- 居場所づくり
- 好きが一番！ 機械いじりが好き、子どもが好き、子どもの目が変わっていく様子が良い
- おもちやドクター理科工作クラブ（10名程度、2名は現役）→ナース（女性）が必要
- おもちやドクター理科工作クラブのホームページあり→大学生の見学参加
- 訪問演奏ピュアチェレ 認知症の方でも歌うことで表情が変わる
- コロボ 写真クラブが映像を映す

- 集まるのが楽しい
- 利用者さんの反応が嬉しい
- 泉の会 視覚障がい者に広報に関して市よりお金が出ている
- 広報福祉まつりタウンニュース LINE
- 広報を見て、昔ギターをやっていたという方が入ってくれた
- ボラ連加入してよかった（おもちゃドクター）
- 文科省より援助あり（拡大写本つばさ）
- 目的：メンバーを増やしたい
- Good! ホームページ 大学生も参加しているとは素晴らしい
- 初めの一步
- おもちゃが動いて良かった→ありがとう
- ボランティアを知らない人が多い
- 私は座間市おもちゃドクターの会ですよ
- 大学生の見学がありました。バンザイ！
- よかったことは、組み立て終わると子供の目が輝いている
- 子供との話がおもしろい
- 昔ギターをしていた
- 点字化は大変です メンバーは 8 名で 1 件あたり 3 か月～10 か月で完成
- ひまわり食育！！
- ギターアンサンブルでボランティア 楽しそうでステキです。→歌を歌ってもらえる
- 人生 100 年
- ギターアンサンブルピアチエーレ  
→聞く人の反応が嬉しい  
→見て、聴いてもらうと仲間が増える
- 年齢は関係なし。やろうと思ったら GO！
- ボイスドリームさま 個人でやってます 「お口の健口体操」やってます

## 2.2.2. まとめ

### ① 情報発信・広報活動

#### 該当意見

- 泉の会さん（録音）

- 広報（市から）
- 広報福祉まつり・タウンニュース・LINE
- ホームページあり → 大学生の見学参加
- 広報を見て昔ギターをしていた方が入会
- 市や文科省からの援助あり
- 視覚障がい者向け広報に公的支援あり

### 要約

広報活動が新たな参加者獲得につながっている。  
ホームページや LINE など多様な媒体活用が効果的。  
行政支援も活動継続の基盤になっている。

---

## ② 若い世代の参加・担い手づくり

### 該当意見

- 70～80 歳代中心で若者参加が難しい
- 若い人たちの層を取り込む
- 大学生の見学参加
- メンバーを増やしたい
- 人生 100 年
- 年齢は関係なし。やろうと思ったら GO！

### 要約

高齢化が進む中で、若い世代の参加促進が課題。  
一方で大学生の見学参加など前向きな動きもある。  
年齢を問わず挑戦できる場づくりを大切にしている。

---

## ③ 子ども支援・おもちゃドクター活動

### 該当意見

- おもちゃドクター理科工作クラブ
- おもちゃが動いて「ありがとう」
- 組み立て終わると子どもの目が輝く
- 子どもとの話がおもしろい
- 機械いじりが好き、子どもが好き

- ナース（女性スタッフ）が必要

#### 要約

壊れたおもちゃの修理や工作活動を通じ、子どもの笑顔や成長を実感している。

「好き」を活かした活動がやりがいにつながっている。

専門性とチーム体制づくりが今後の課題。

---

#### ④ 音楽・演奏ボランティア

##### 該当意見

- 訪問演奏ピュアチェーレ
- ギターアンサンブル ピアチェーレ
- 歌ってもらえる
- 認知症の方も表情が変わる
- 聞く人の反応が嬉しい
- 昔ギターをしていた人が参加

##### 要約

音楽を通じて高齢者や認知症の方の表情や反応が変わる喜びを実感。

演奏活動が仲間づくりや参加者拡大につながっている。

---

#### ⑤ 障がい者支援・情報保障活動

##### 該当意見

- 点字化は大変（1件3～10か月）
- 録音活動
- 拡大写本活動
- 個人からオーダーメイド対応

##### 要約

視覚障がい者への情報保障活動は専門性が高く、時間と労力を要する。

地道で継続的な支援が大きな価値を持っている。

---

#### ⑥ 居場所づくり・つながり

##### 該当意見

- 居場所づくり

- 集まるのが楽しい
- ボラ連加入してよかった
- 見て・聴いてもらうと仲間が増える

#### **要約**

ボランティアは支援だけでなく、仲間づくり・交流の場にもなっている。  
活動そのものが「居場所」となっている。

---

### **⑦ 個人活動・専門性の発揮**

#### **該当意見**

- JICA シニア経験を活かす会（日本語教育支援）
- ボイスドリームさま（お口の健口体操）
- 海外との文化・教育の違いを知る楽しみ

#### **要約**

個人の経験や専門性を活かした活動が展開されている。  
国際経験や専門知識を地域に還元している。

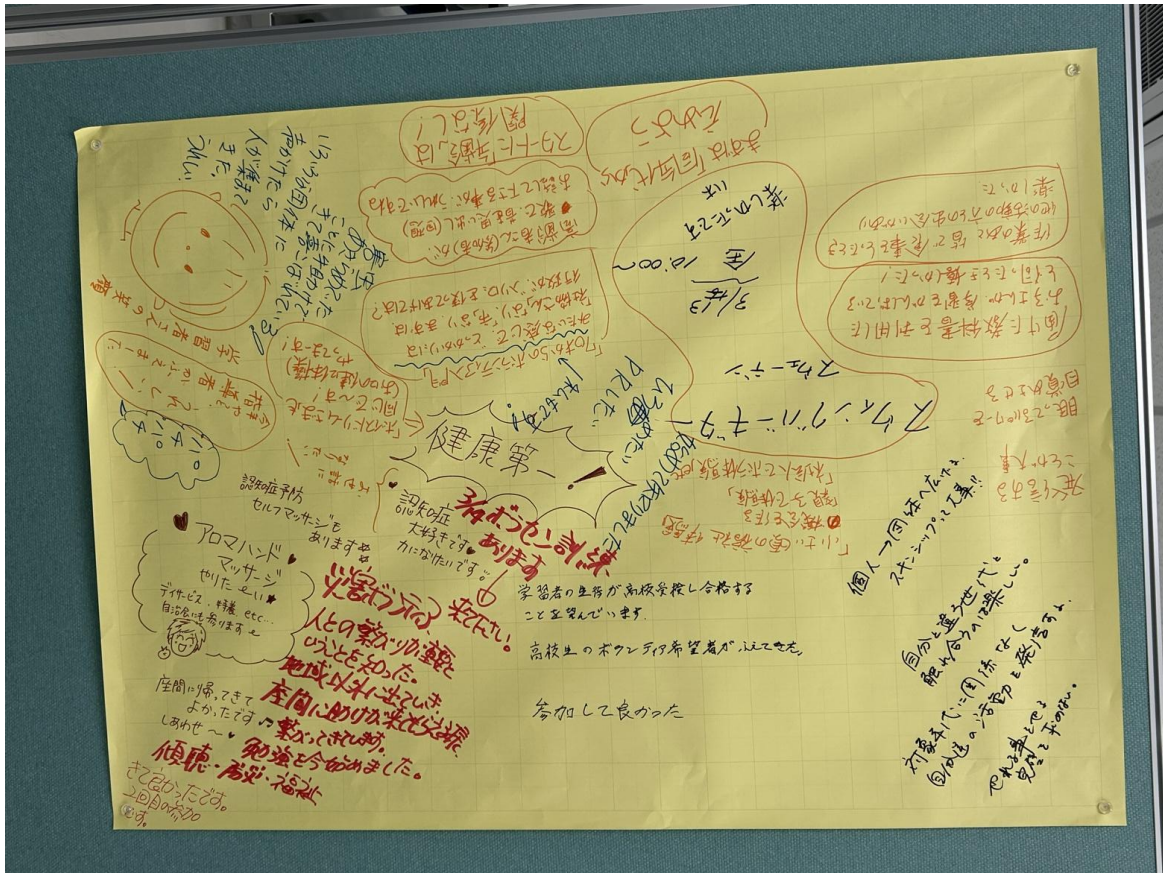
---

### **全体総括**

テーブル2の自由意見から見える特徴は：

1. 広報が仲間づくりの鍵
  2. 若い世代の参加が重要課題
  3. 子ども支援・音楽活動が高い満足度を生んでいる
  4. 障がい者支援は専門性と継続力が必要
  5. ボランティアは“居場所”であり、生きがいである
  6. 好きや経験を活かすことが活動継続の原動力
-

## 2.3. テーブル3



### 2.3.1. 主な記述内容

- まずは同年代から広めよう
- スタートに「年齢」は関係なし！
- 高齢者さん(参加者)が、歌で昔を思い出し(回想)、お話し下さる事がうれしいですね
- 害虫あきらめてたことに手助けできて喜ばれる！
- いろいろな団体に声かけたら、人が集まってきた。うれしい！
- 作業のあと皆で食事をとったとき 他の活動の方との出会いがあり 楽しかった
- 届けた教科書を利用したお子さんが学習をがんばっていると伺ったとき嬉しかった「70才からのボランティア入門」みたいな感じで、とっかかりは「社協さん」なり、「市」なり、まずは行政が入り口を使ってあげては？
- 「ボイスドリームざま」も同じで～す！ (お口の健口体操)やってみ～す！
- 今年やっと指導者が増えました。嬉しい！
- スウィングバーギター スウェーデン 3/16(金) 10:00～ 楽しかったです
- 眠ってるパワーを目覚めさせる

- 発信することが大事
- 「小さい頃の福祉体験」機会を作る「親子で体験」、「社会人でボラ体験」、etc…
- 健康第一
- 個人から団体へ広げる。スキンシップって大事！！
- 自分と違う世代と触れ合うのは楽しい。
- 対象代に関係なく、自分達の活動を発信する。
- やれる事をやる。完璧を求めない。
- 学習者の生待が高校受験し合格することを望んでいます
- 高校生のボランティア希望者がふえてきた。
- 参加して良かった
- 認知症大好きです♡力になりたいです！
- 認知症予防セルフマッサージもあります☆彡
- アロマハンドマッサージやりた～い☆ デイサービス、特養、etc... 自治会にも参りま～す
- 座間に帰ってきてよかったです♪ しあわせ～♡
- 3/14 ボラセン訓練あります→来てください。
- 災害ボランティアで人との繋がりが重要ということを知った。
- 地域以外に出ていき、座間に助けが来てもらえる様、繋がって来ています。
- 勉強を今始めました。
- 傾聴、防災、福祉
- きて良かったです。2回目の参加です。

### 2.3.2. まとめ

#### ① 高齢者支援・回想・健康づくり

##### 該当意見

- 歌で昔を思い出して話してくれるのが嬉しい
- 認知症予防セルフマッサージ
- アロマハンドマッサージ（デイサービス・特養・自治会）
- 健康第一
- 認知症が好き、力になりたい

##### 要約

高齢者支援や認知症予防活動にやりがいを感じている。

音楽やマッサージなどを通じて、回想や心身の活性化につながる支援を大切にしている。

---

## ② 学習支援・子ども支援

### 該当意見

- 教科書を届けた子どもが学習を頑張っている
- 高校受検合格を望んでいる
- 小さい頃の福祉体験の機会づくり（親子体験・社会人体験）
- 高校生のボランティア希望者が増えてきた

### 要約

子どもの学習や成長を支える活動に喜びを感じている。

若年層へのボランティア体験機会を増やすことが重要と認識されている。

---

## ③ 世代を超えた交流・広がり

### 該当意見

- 同年代から広めよう
- 年齢は関係なし
- 自分と違う世代と触れ合うのは楽しい
- 個人から団体へ広げる
- いろいろな団体に声かけたら人が集まった
- 作業後の食事交流が楽しい

### 要約

世代や団体を越えたつながりが活動の活力となっている。

まず身近な層から広げ、徐々に輪を拡大することを大切にしている。

---

## ④ 情報発信・入口づくり

### 該当意見

- 発信することが大事
- 対象世代に関係なく発信
- 「70 才からのボランティア入門」行政が入口に
- 参加してよかった
- ボラセン訓練案内

## 要約

活動を知ってもらう「入口づくり」の重要性を強く感じている。  
行政やボランティアセンターが最初の窓口になることへの期待がある。

---

### ⑤ 災害ボランティア・地域連携

#### 該当意見

- 災害ボランティアで人との繋がりが重要と知った
- 地域外ともつながり座間に助けが来てもらえるように
- ボラセン訓練
- 傾聴、防災、福祉

#### 要約

災害時には平時からの「人のつながり」が重要と実感。  
地域内外のネットワークづくりと防災意識の向上を大切にしている。

---

### ⑥ 自己成長・前向きな姿勢

#### 該当意見

- 眠っているパワーを目覚めさせる
- やれることをやる、完璧を求めない
- 勉強を今始めました
- 参加してよかった（2回目）
- 座間に帰ってきてよかった、幸せ

#### 要約

ボランティアは自己成長や自己肯定感につながっている。  
無理せず継続する姿勢や、地域への愛着が感じられる。

---

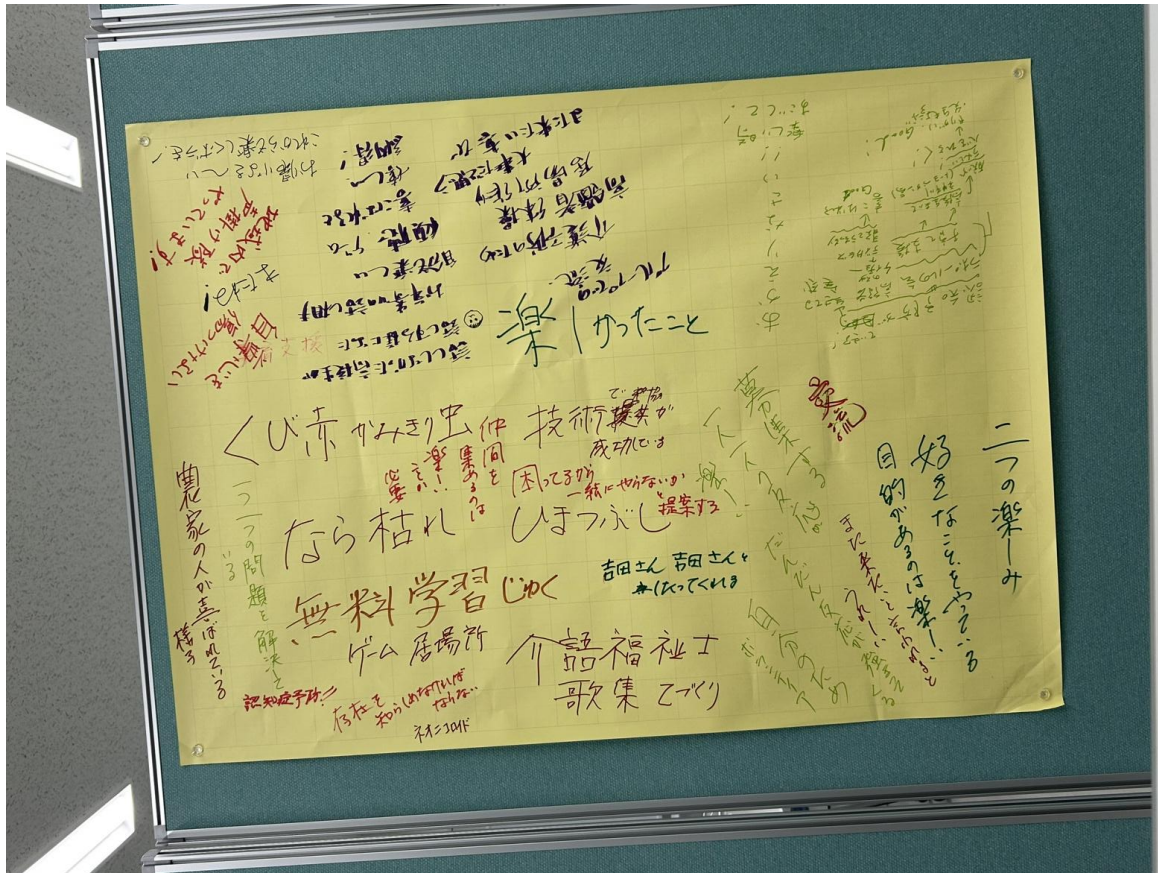
## 全体総括

テーブル3の自由意見から見える特徴は：

1. 高齢者支援・認知症予防活動が活発
2. 学習支援と若い世代の巻き込みへの意識が高い
3. 世代・団体を越えたつながりを重視
4. 情報発信と“入口づくり”が重要課題

5. 災害対応を見据えたネットワークづくり
  6. 前向きで柔軟な姿勢（完璧を求めない）
-

## 2.4. テーブル4



### 2.4.1. 主な記述内容

- 認知予防ができる！ → 生きている実感
- ラポールの会で、デイサービスなどで傾聴活動や歌を歌ったりで、高齢者から喜ばれる。
- ラポールの会の子育て支援で高校生を相手 → 心を開いたことが嬉しいし、やりがいを感じる → 学校の先生も喜ぶ
- グループでの交流
- 介護予防のための高齢者体操
- 居場所作り大事だと思う
- また来たい喜び
- 話しなかった高校生が話をする様になった
- お年寄りの話し相手 自分も楽しい
- 傾聴・ゲーム 喜ばれると嬉しい 納得！
- 自尊心を傷つけない
- 地域内で声掛け隊をやっています！

- お帰りなさい~い これからも楽しくボラを！
- くび赤かみきり虫 ナラ枯れ 技術で成功している
- 農家の人が喜ばれている様子
- 一つ一つの問題を解決している
- 認知症予防！！
- 仲間を集めるには、楽しいことが必要。
- 「困ってるなら一緒にやらないか」と提案する
- 無料学習じゅく
- ひまつぶし ゲーム 居場所
- 存在を知らしめなければならない
- ネオニコチノイド
- 介護福祉士
- 歌集手作り
- 募集する一人一人の反応が楽しい
- だんだんと反応が強まってくる
- 自分のためボランティア
- 交流 また来たいと言われるとうれしい
- 目的があるのは楽しい、好きなことをやっているが二つの楽しみ

#### 2.4.2. まとめ

##### ① 高齢者支援・認知症予防・介護予防

###### 該当意見

- 認知予防ができる → 生きている実感
- 認知症予防！！
- 介護予防のための高齢者体操
- デイサービスで傾聴活動や歌
- お年寄りの話し相手
- 傾聴・ゲームが喜ばれる
- 自尊心を傷つけない

###### 要約

高齢者の認知症予防や介護予防に重点が置かれている。

傾聴や歌、体操などを通じて心身の活性化を図り、相手の尊厳を大切にしたり関わりを重視している。

---

## ② 子ども・若者支援（学習・心の成長）

### 該当意見

- 子育て支援で高校生が心を開いた
- 話さなかった高校生が話すようになった
- 無料学習じゅく
- 学校の先生も喜ぶ

### 要約

若者が心を開き成長していく姿にやりがいを感じている。

学習支援や対話を通じて、学校・家庭・地域をつなぐ役割を果たしている。

---

## ③ 居場所づくり・交流・つながり

### 該当意見

- 居場所づくりが大事
- グループでの交流
- ひまつぶし・ゲーム・居場所
- また来たいと言われるとうれしい
- 交流が楽しい
- 仲間を集めるには楽しいことが必要

### 要約

ボランティア活動は「安心して集まれる居場所」づくりにつながっている。

楽しさが継続や仲間づくりの原動力になっている。

---

## ④ 地域課題解決・専門性の活用

### 該当意見

- ナラ枯れ対策（技術で成功）
- 害虫対策で農家が喜ぶ
- ネオニコチノイド
- 一つ一つの問題を解決

## 要約

地域の環境・農業問題などにも専門性を活かして取り組んでいる。  
具体的な成果が見える活動が大きな達成感につながっている。

---

## ⑤ 発信・仲間づくり・参加促進

### 該当意見

- 存在を知らしめなければならない
- 募集する一人一人の反応が楽しい
- 「困ってるなら一緒にやらないか」と提案
- 地域内で声掛け隊

### 要約

活動の周知と積極的な声かけが重要と感じている。  
対話を通じた参加促進を大切にしている。

---

## ⑥ 自己充実・生きがい

### 該当意見

- 自分のためボランティア
- 生きている実感
- 目的があるのは楽しい
- 好きなことをやっている（二つの楽しみ）
- お帰りなさい、これからも楽しくボラを

### 要約

ボランティアは他者支援だけでなく、自分自身の充実や生きがいにもなっている。  
「楽しい」「やりたい」という気持ちが継続の鍵。

---

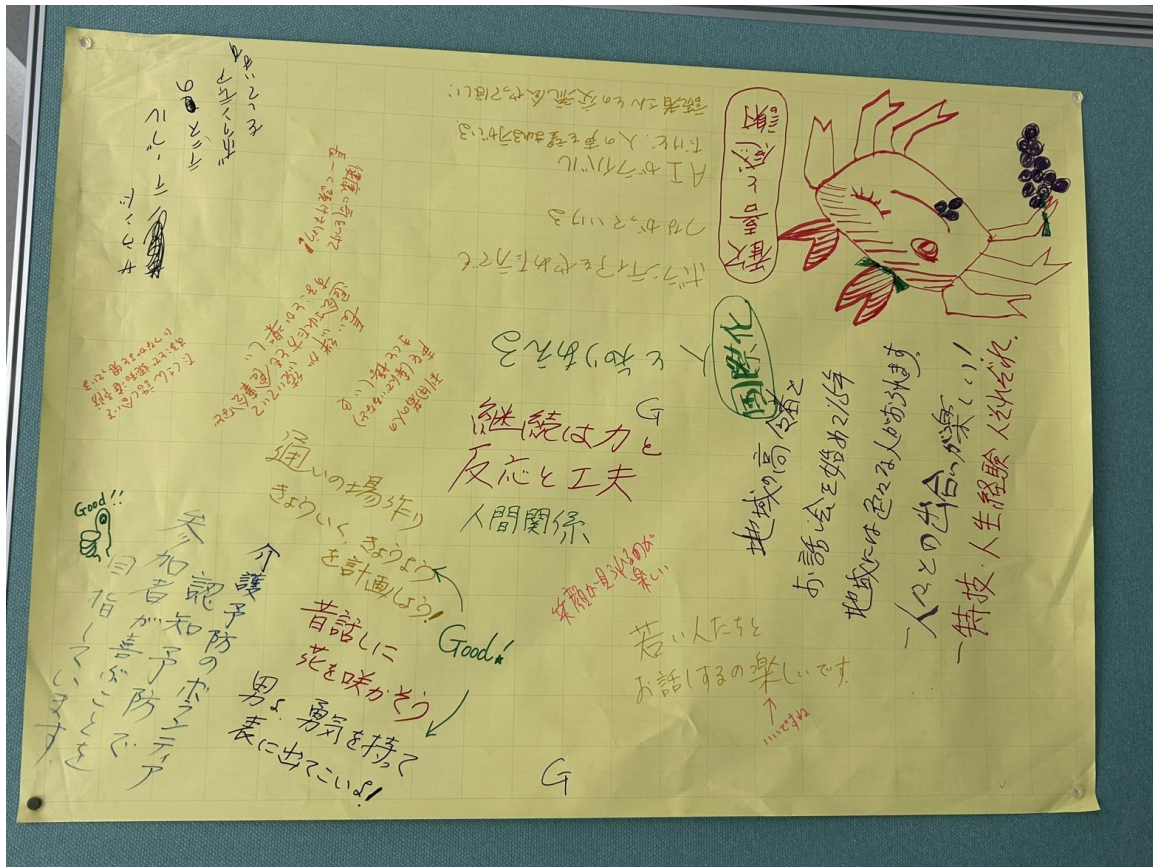
## 全体総括

テーブル4の自由意見から見える特徴は：

1. 高齢者支援・認知症予防活動が中心的役割
2. 若者支援では“心が開く瞬間”に大きな喜び
3. 居場所づくりと楽しさが継続の原動力
4. 地域課題解決に専門性を活かしている

5. 積極的な声かけと発信が仲間づくりの鍵
  6. ボランティアは“自分のため”でもある
-

## 2.5. テーブル5



### 2.5.1. 主な記述内容

- 継続は力と反応と工夫
- 人間関係
- 人と知り合える
- ボランティアを辞めた方でも繋がっている
- AI がライバルだけど、人の声を望んでいる方がいる
- 読者さんとの交流会があるとよい
- 国際化
- 歓喜と感謝
- 地域の高齢者とお話を始めて15年、地域には色々な人がおられます
- 人との出会いが楽しい！
- 特技・人生経験 人それぞれ
- 笑顔が見られるのが楽しい
- 若い人たちとお話するのが楽しいです

- 利用者の人の声を聴くと嬉しい♡
- 長い絆が続いて退会された方も食事会などすることが楽しい
- 健康に気をつけて長〜く続けましょう！
- たくさん話し合いをすることで認知症予防につながると思っている
- サウンドテーブルテニスのボランティアをしています
- 通いの場作り
- 教育・教養を計画しよう
- 昔話に花を咲かそう
- 男よ、勇気を持って表に出て来いよ！
- 介護予防のボランティア
- 認知予防で参加者が喜ぶことを目指しています

### 2.5.2. まとめ

#### ① 人とのつながり・人間関係

##### 該当意見

- 人間関係
- 人と知り合える
- 人との出会いが楽しい
- 若い人たちと話すのが楽しい
- 辞めた方ともつながっている
- 長い絆が続き食事会も楽しい

##### 要約

活動を通じて人との出会いや長期的なつながりが生まれている。  
世代を超えた交流が大きな喜びとなっている。

---

#### ② 高齢者支援・認知症予防・介護予防

##### 該当意見

- 地域高齢者とのお話会（15年継続）
- 認知予防で参加者が喜ぶことを目指す
- 介護予防ボランティア
- 話し合いが認知症予防につながる

- サウンドテーブルテニス

#### 要約

高齢者の認知症予防や介護予防を目的とした活動が中心。

「話すこと」「体を動かすこと」「交流すること」が健康維持に重要と認識されている。

---

### ③ 継続・健康・生きがい

#### 該当意見

- 継続は力と反応と工夫
- 健康に気をつけて長く続ける
- 通いの場づくり
- 昔話に花を咲かそう

#### 要約

継続することの価値を強く感じている。

無理なく健康を意識しながら続ける姿勢が大切にされている。

---

### ④ 喜び・感謝・やりがい

#### 該当意見

- 歓喜と感謝
- 笑顔が見られるのが楽しい
- 利用者の声を聴くと嬉しい

#### 要約

相手の笑顔や感謝の言葉が活動の原動力。

人の反応がやりがいにつながっている。

---

### ⑤ 多様性・国際化・社会の変化

#### 該当意見

- 国際化
- AI がライバルだが人の声を望む人がある
- 特技・人生経験は人それぞれ
- 男性の参加を促したい

#### 要約

社会の変化（国際化・AI化）を意識しながらも、人の温かさや直接交流の価値を再認識している。

多様な経験や特技を活かす場としてのボランティアの可能性を感じている。

---

## ⑥ 学び・企画・発展

### 該当意見

- 教育・教養を計画
- 読者さんとの交流会があるとよい

### 要約

活動を発展させるための企画や学びの機会を模索している。

一方向ではなく、双方向の交流を目指している。

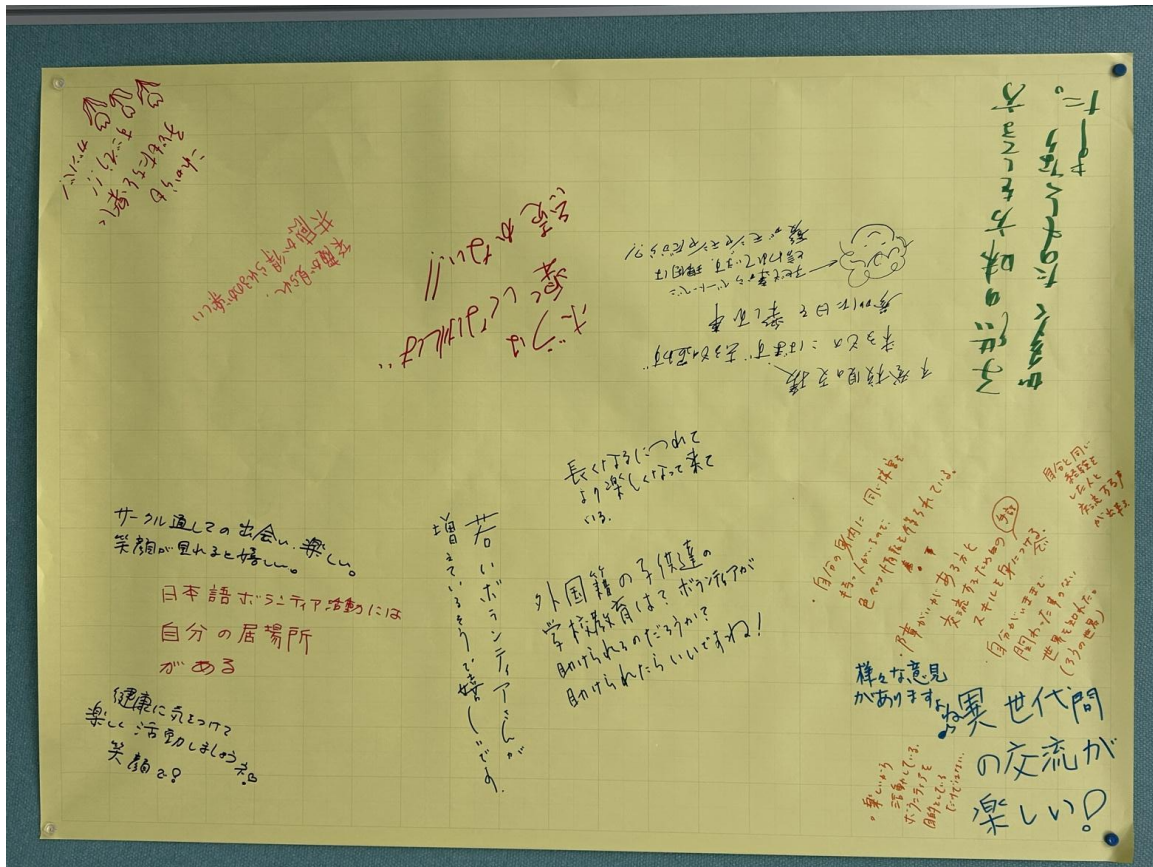
---

## 全体総括

テーブル5の自由意見から見える特徴は：

1. 人とのつながりが最大の価値
  2. 高齢者支援・認知症予防活動が中心
  3. 継続と健康が活動の基盤
  4. 感謝や笑顔がやりがい
  5. AI時代でも“人の声”の価値を重視
  6. 多様性・国際化への意識
-

## 2.6. テーブル6



### 2.6.1. 主な記述内容

- 子供の味方をしている方が多く、たのもしくなりました。
- 自分と同じ経験をした人と交流することが出来る
- 自分の身内に同じ障害を持っている人がいるので、色々な情報を保られている。
- 障がいがある方と交流するための手話などのスキルを身につけている
- 自分がいままで関わったことのない世界を知れた（ろうの世界）
- 様々な意見がありますよね♪
- 異世代間の交流が楽しい！
- 楽しいから活動している。ボランティアを目的としているだけではない。
- 不登校児の支援 来るものこぼまず・去る者追わず 参加した日を楽しむこと
- 子ども達からベーターンと言われています。理由は、髪がモジャモジャだから！？
- ボラは楽しくなければ続かない！！
- 長くなるにつれてより楽しくなって来ている

- 外国籍の子ども達の学校教育は？ボランティアが助けられるのだろうか？助けられたらいいですね！
- 若いボランティアさんが増えているそうで嬉しいです
- 笑顔が見られ、共感が得られるのが楽しい
- これからも子ども達と楽しく過ごそう！！ガンバ！
- サークル通しての出会いが楽しい
- 笑顔が見れると嬉しい
- 日本語ボランティア活動には自分の居場所がある
- 健康に気をつけて楽しく活動しましょうネ♡ 笑顔で！

## 2.6.2. まとめ

### ① 子ども支援・不登校支援・外国籍支援

#### 該当意見

- 子どもの味方をしている人が多く頼もしい
- 不登校児の支援（来るもの拒まず・参加日を楽しむ）
- 外国籍の子ども達の学校教育支援
- これからも子ども達と楽しく過ごそう
- 子ども達からあだ名をつけられる（親しみ）

#### 要約

子どもや若者を支える活動が中心。

安心できる居場所づくりや、外国籍児童・不登校児への支援など、多様な子ども支援への関心が高い。

「その日を楽しく過ごすこと」を大切にしている。

### ② 障がい理解・ろうの世界・手話スキル

#### 該当意見

- 障がいのある家族がいるため情報共有
- 手話などのスキル習得
- ろうの世界を知ることができた
- 様々な意見がある

#### 要約

障がい理解を深め、手話などのスキルを学びながら支援している。  
これまで関わりのなかった世界に触れ、視野が広がったという実感がある。

---

### ③ 異世代交流・出会い

#### 該当意見

- 異世代間の交流が楽しい
- 自分と同じ経験をした人と交流できる
- サークルを通しての出会いが楽しい
- 若いボランティアが増えて嬉しい

#### 要約

世代や経験を越えた出会いが活動の魅力。  
若い世代の参加増加に期待と喜びがある。

---

### ④ 楽しさ・笑顔・継続

#### 該当意見

- 楽しいから活動している
- ボラは楽しくなければ続かない
- 長くなるにつれてより楽しくなってきた
- 笑顔が見られ嬉しい
- 共感が得られるのが楽しい
- 健康に気をつけて楽しく活動

#### 要約

「楽しい」が最大の原動力。  
笑顔や共感が活動継続の鍵になっている。  
無理なく健康を大切にしながら続けたいという思いが強い。

---

### ⑤ 自己肯定感・居場所

#### 該当意見

- 日本語ボランティア活動には自分の居場所がある
- ボランティアは目的だけでなく楽しみでもある

#### 要約

ボランティアは支援の場であると同時に、自分自身の居場所でもある。  
活動を通して自己肯定感や存在意義を感じている。

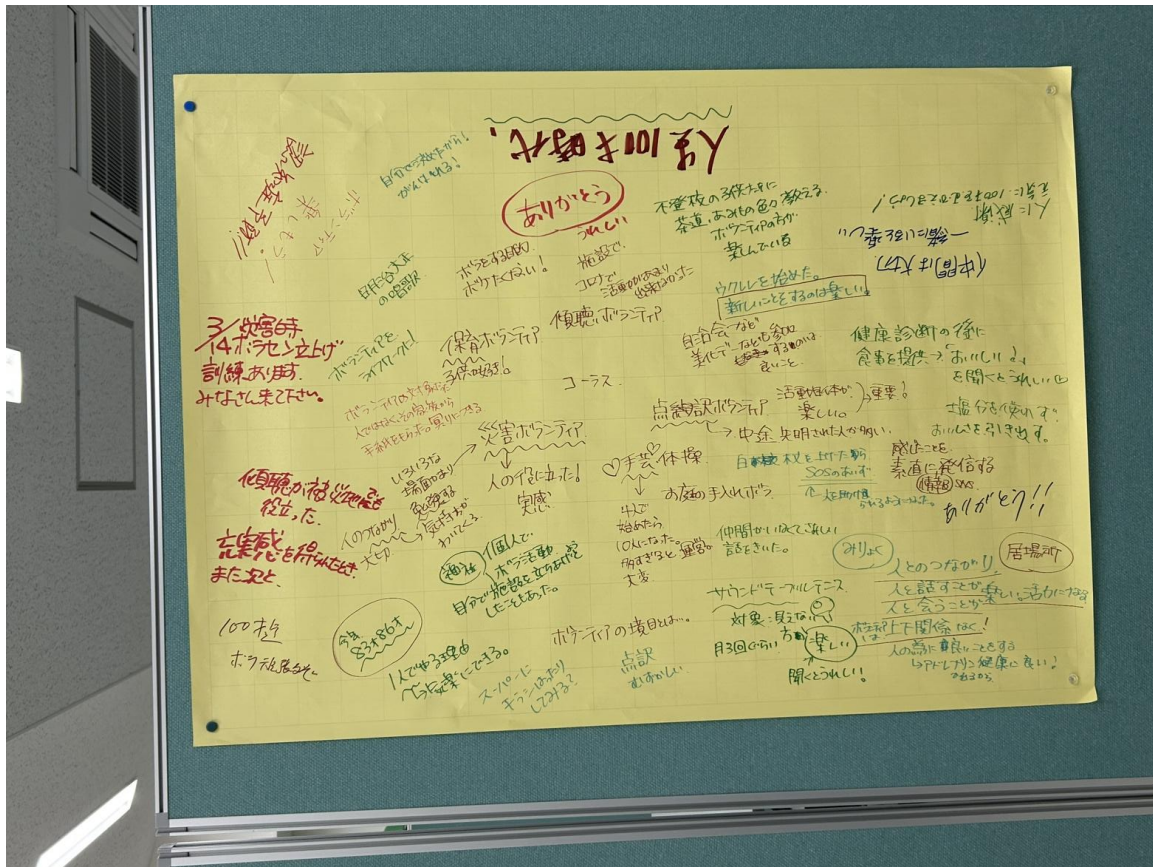
---

## **全体総括**

テーブル6の自由意見から見える特徴は：

1. **子ども支援・外国籍支援・不登校支援への関心が高い**
  2. **障がい理解と手話などのスキル向上**
  3. **異世代交流と若者参加への期待**
  4. **“楽しい”が最大の継続要因**
  5. **ボランティアは自分の居場所でもある**
  6. **健康を意識しながら無理なく続けたい**
-

## 2.7. テーブル7



### 2.7.1. 主な記述内容

- 人生 100 才時代
- ありがとう → うれしい!!
- ボラをする目的。ボケたくない!
- コロナにより施設での活動があまりできなかった
- 不登校の子どもたちに茶道、あみものなど色々教えるボランティアの方が楽しんでいる。
- ウクレレを始めました。楽しいことをするのは楽しい。
- 保育ボランティア 子どもが好き!
- 傾聴ボランティア
- 自治会など美化デーなども参加するのは良いこと
- コーラス
- いろいろな場面があり → 災害ボランティア → 人の役に立った! 実感!
- 点訳ボランティア → 途中失明された人が多い
- 個人でボラ活動。自分で福祉施設を立ち上げようとしたこともあった。

- ♡手芸♡→4人で始めたら10人になった。多すぎると運営が大変
- お庭の手入れボラ
- ボランティアの境目とは・・・
- スーパーにチラシはったりしてみる？
- 点訳むずかしい
- 自分で決めたから！がんばれる！
- ボランティア楽しもう！
- 認知症予防！！
- 明治大正の唱歌
- 3/14 災害時ボラセン立上訓練あります。みなさん来て下さい。
- ボランティアをライフワークに！
- ボランティアの対象だった人ではなく、その家族から手紙をもらった。冥利につきる。
- 傾聴が被災地でも役に立った。
- 人のつながり大切→勉強する気持ちがわいてくる
- 充実感を得られたとき、また次と
- 100才迄ボラ頑張るぞ
- 今年83才と86才
- 1人でやる理由→気軽にできる
- 人に感謝。元気に100才を迎えましょう！
- 仲間は大切。一緒にいると楽しい。
- 健康診断の後に食事を提供→「おいしい！」を聞くとうれしい♡
- 活動自体が楽しい。→重要！
- 白杖を上げたSOSのあいず←人を助けられるようになった。
- 感じたことを素直に発信する 情報 SNS
- ありがとう！！
- 仲間がいなくてさみしいと話を聞いた
- サウンドテーブルテニス月3回ぐらい、見えない方から楽しいを聞くとうれしい。
- 人とのつながり
- 人と会うこと、話ことが楽しいし、活力になる。
- ボランティアは上下関係なく！
- 人のために良いことをする→アドレナリンが出るから健康に良い！

## 2.7.2. まとめ

### ① 高齢期の生きがい・健康・人生 100 年時代

#### 該当意見

- 人生 100 才時代
- 100 才までボウ頑張る
- ボケたくない！
- 認知症予防
- 今年 83 才・86 才
- 健康に良い（人のために良いことをする）
- ウクレレ、コーラスなど楽しみながら活動

#### 要約

ボランティアは健康維持や認知症予防、生きがいづくりの場となっている。  
高齢期でも「まだまだ現役」という前向きな姿勢が強い。

---

### ② 感謝・やりがい・達成感

#### 該当意見

- 「ありがとう」がうれしい
- 家族から手紙をもらい冥利に尽きる
- 「おいしい！」と言われて嬉しい
- 見えない方から「楽しい」と聞いて嬉しい
- 充実感を得るとまた次へ

#### 要約

感謝の言葉や反応が最大の励み。  
本人だけでなく家族からの感謝も大きなやりがいにつながっている。

---

### ③ 子ども支援・不登校支援・保育

#### 該当意見

- 不登校の子どもに茶道や編み物を教える
- 保育ボランティア（子どもが好き）

#### 要約

子どもへの文化・体験支援を通じて成長を支える活動。

教える側も楽しみながら取り組んでいる。

---

#### ④ 障がい者支援・専門活動

##### 該当意見

- 点訳ボランティア（難しい・途中失明の方が多い）
- 白杖 SOS を助けられるようになった
- サウンドテーブルテニス
- 傾聴ボランティア

##### 要約

視覚障がい者支援や傾聴など、専門性を伴う活動が継続されている。  
学びながら支援できる喜びを感じている。

---

#### ⑤ 災害ボランティア・地域活動

##### 該当意見

- 災害ボランティアで役に立った実感
- 傾聴が被災地でも役立った
- 災害ボラセン立上訓練
- 自治会美化デー参加

##### 要約

災害時や地域活動への参加を通じて、実践的な「人の役に立つ」経験をj得ている。  
平時からの訓練や参加の重要性を感じている。

---

#### ⑥ 仲間・つながり・居場所

##### 該当意見

- 仲間は大切
- 仲間がいなくてさみしいという声を聞いた
- 人とのつながり
- 人と会い話すことが活力
- 4人で始めた手芸が10人に（運営の課題も）
- ボランティアは上下関係なく

##### 要約

人とのつながりが活動の基盤。  
仲間の存在が楽しさと継続を支えている。  
一方で、規模拡大に伴う運営課題も感じている。

---

## ⑦ 個人活動・主体性・発信

### 該当意見

- 1人でやる理由→気軽にできる
- 自分で決めたから頑張れる
- 福祉施設を立ち上げようとした
- チラシや SNS で発信
- ボランティアの境目とは？

### 要約

主体的に選び、自分らしく取り組む姿勢が強い。  
発信の工夫や、活動の意味を問い直す意識も見られる。

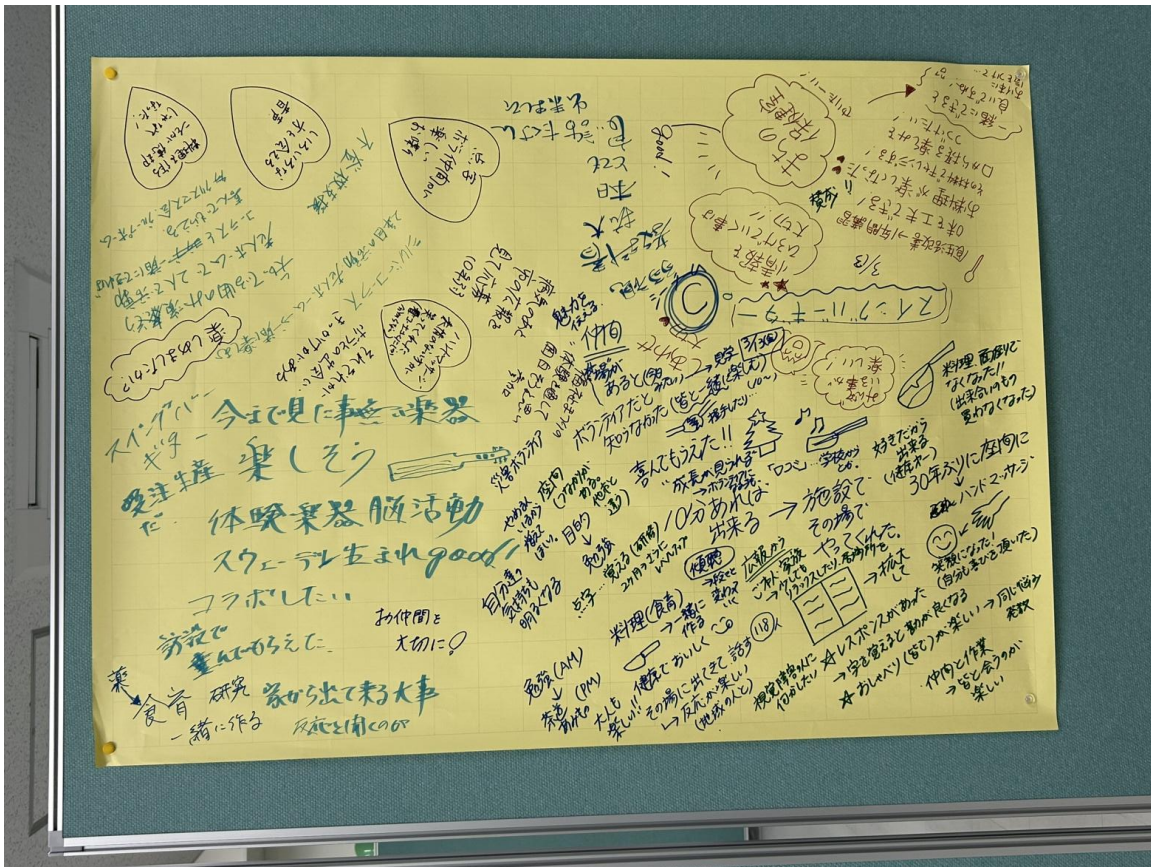
---

## 全体総括

テーブル7の自由意見から見える特徴は：

1. 「人生 100 年時代」の生きがいとしてのボランティア
  2. 感謝・充実感が最大の原動力
  3. 子ども支援から障がい者支援まで幅広い活動
  4. 災害対応など実践的な地域貢献
  5. 仲間・つながりが活動継続の基盤
  6. 主体性と楽しさを重視
  7. “ボランティアをライフワークに”という強い意識
-

## 2.8. テーブル 8



### 2.8.1. 主な記述内容

- 料理を作ることが億劫じゃなくなった！
- いろいろな方と会える音声
- 不登校支援
- 知っている曲のみ演奏 老人ホームで2人で活動。
- コーラスと一緒にできれば喜んでもらえる。
- クリスマス会、グループホーム
- スイングバーギター 今まで見たことない楽器 受注生産 楽しそう
- 体験楽器脳活動 スウェーデン生まれ good!
- コラボしたい
- 施設で喜んでもらえた
- お仲間を大切に！
- 薬→食育研究→一緒に作る
- 家から出てくる反応を聞くのが大事

- 点字ボラ仲間の楽しいおしゃべり
- シルバーコーラス 2 年目の活動 老人ホーム→一緒に楽しむ
- 楽しめましたか？
- 病気のあと市の広報を見て応募。10 年弱。
- ハンドマッサージ表情のない方が笑ってくれた (◎△\$♪×¥○&%#?!)
- それぞれがボラとの出会いにきっかけがある
- 本日とても良い話がたくさん出来ました
- 教科書拡大
- 弱視
- 魅力を伝える
- 福祉まつりの体験を通して面白そうと思い参加
- 仲間 場があると (今日みたい)
- ボランティアだと知らなかった (皆と一緒に楽しむ)
- 握手したり・・・
- 災害ボランティア
- 座間 (つながりがある。他市と違う。)
- 喜んでもらった！！
- 生長が見られる→ボランティアになる子も
- やめる人いるから増えてほしい。
- 目的→勉強
- 自分たちの気持ちも明るくなる
- 点字・・・覚える (研修) 2 か月→さらにレベルアップ
- 10 分あれば出来る→施設でその場でやってくれた
- 傾聴→段々と変わっていく
- 広報からご本人・家族→少しでもリラックスしたり、居場所を→拡大して
- 勉強 (AM) →茶道 (PM) あみもの
- 大人も楽しい！！
- 料理 (食育) →一緒に作る
- 健康でおいしく
- その場に出てきて話す 118 人→反応が楽しい (地域の人と)
- 視覚障がいの人に何かしたい

- ☆レスポンスがあった→字を覚えると勘が良くなる
- ☆おしゃべり（皆で）が楽しい→同じ悩み発散
- 仲間と作業→皆と会うのが楽しい
- 料理が面倒でなくなった！！（出来合いのもの買わなくなった）
- 好きだからできる（健康第一）
- 30年ぶりに座間に→ハンドマッサージ
- 笑顔になった（自分も喜びを頂いた）
- みんなでいる事が楽しい！
- しあわせ大切♡
- スイングバーギター
- 情報をひろげていく事は大切！！
- まちの保健室やりたーい！→一緒にできると良いですね！お体に気をつけて・・・
- 食生活改善→1年間講習 味を工夫できる！
- お領地が楽しくなった♡♡
- その材料でチャレンジする！
- 口から摂る楽しみをつづけたい！！

## 2.8.2. まとめ

### ① 食育・料理・健康づくり

#### 該当意見

- 料理が億劫でなくなった
- 食育研究→一緒に作る
- 健康でおいしく
- 食生活改善（1年間講習）
- 口から摂る楽しみを続けたい
- その材料でチャレンジする

#### 要約

食育や料理活動を通じて健康づくりを実践。

「一緒に作る」ことを大切に、参加者自身の生活改善にもつながっている。

---

### ② 音楽・演奏・体験活動

### 該当意見

- スイングバーギター
- コーラス活動（老人ホーム）
- クリスマス会・グループホーム
- 知っている曲のみ演奏
- コラボしたい

### 要約

音楽や珍しい楽器を通じて施設利用者と交流。

「一緒に楽しむ」ことが喜びにつながっている。

団体同士のコラボレーションへの意欲も高い。

---

## ③ 障がい者支援（視覚障がい・点字・拡大教科書）

### 該当意見

- 点字ボランティア研修・レベルアップ
- 教科書拡大
- 弱視支援
- 視覚障がいの人に何かしたい
- 点字仲間との楽しい交流

### 要約

視覚障がい者支援への関心と継続的な学習意欲が高い。

専門性を磨きながら、仲間との学びを楽しんでいる。

---

## ④ 子ども支援・不登校支援・成長支援

### 該当意見

- 不登校支援
- 勉強（午前）・茶道や編み物（午後）
- 成長が見られる → 将来ボランティアになる子ども

### 要約

子どもの成長や変化を見守ることにやりがいを感じている。

学習だけでなく体験活動を組み合わせた支援が行われている。

---

## ⑤ 傾聴・ハンドマッサージ・心のケア

### 該当意見

- ハンドマッサージで笑顔が見られた
- 傾聴で段々と変わっていく
- 握手などスキンシップ
- リラックスや居場所づくり

### 要約

心のケアやふれあいを通じて表情や反応の変化を実感。  
小さな関わりが大きな喜びにつながっている。

---

## ⑥ 仲間・つながり・地域性

### 該当意見

- お仲間を大切に
- 皆と会うのが楽しい
- 座間はずなかりがある
- その場で 118 人が話す→反応が楽しい
- 皆でおしゃべりして悩み発散

### 要約

地域内のつながりが強み。  
仲間と集まり、語り合う場そのものが価値になっている。

---

## ⑦ きっかけ・広報・参加促進

### 該当意見

- 市の広報を見て応募
- 福祉まつり体験がきっかけ
- 情報を広げることが大切
- 魅力を伝える
- やめる人がいるから増えてほしい

### 要約

参加のきっかけは広報や体験イベント。  
活動の魅力発信が今後の課題と認識されている。

---

## ⑧ 災害ボランティア

### 該当意見

- 災害ボランティア

### 要約

地域の支え合いとして災害対応も視野に入れている。

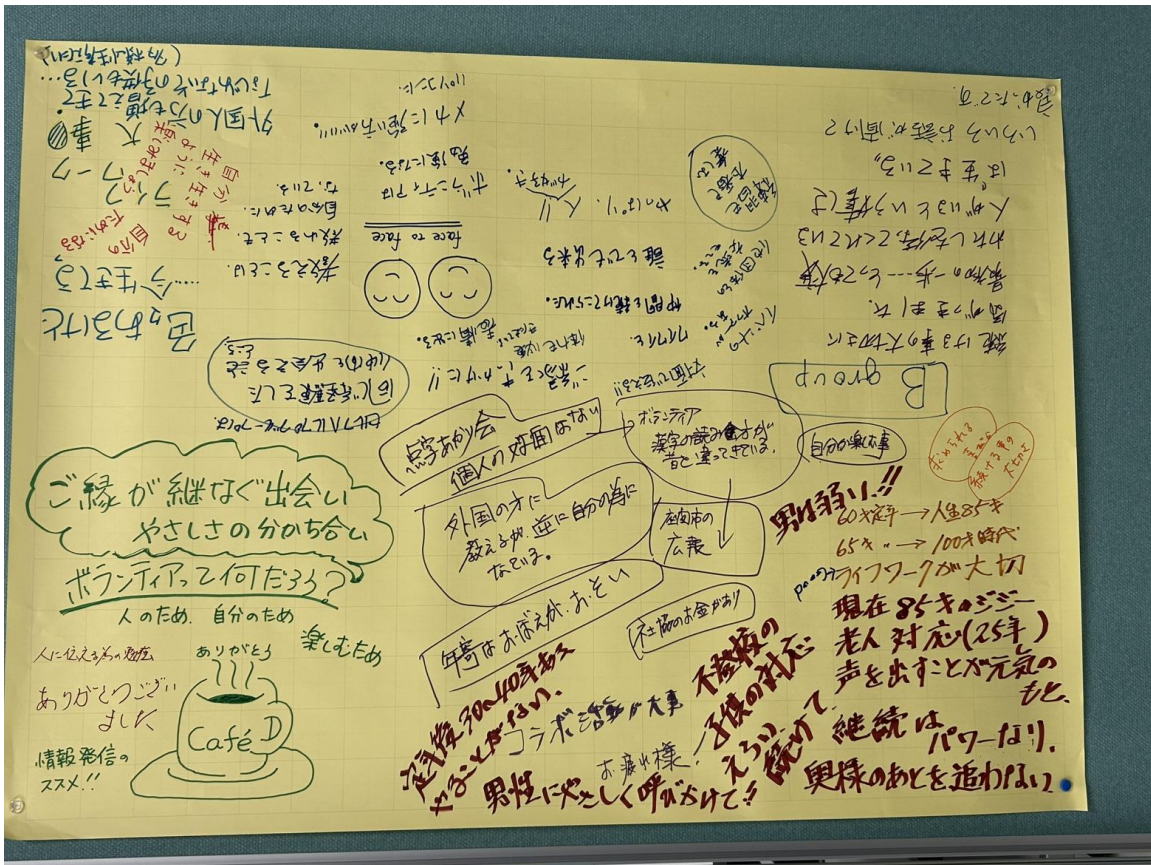
---

## 全体総括

テーブル8の自由意見から見える特徴は：

1. 食育・健康づくり活動が充実
  2. 音楽や体験活動を通じた交流
  3. 視覚障がい支援への高い専門性
  4. 子ども支援と成長の見守り
  5. 傾聴・マッサージなど心のケア
  6. 地域のつながりが強み
  7. 広報・魅力発信が重要課題
  8. 活動を通じて自分自身も明るくなる
-

## 2.9. テーブル 9



### 2.9.1. 主な記述内容

- ご縁が繋がる出会い やさしさの分かち合い
- ボランティアって何だろう？
- 人のため 自分のため 楽しむため
- 人に伝える為の勉強
- ありがとうございました
- 情報発信のススメ！！
- 点字あかり会 個人の対面はない→ボランティア漢字の読み方が昔と違ってきている→座間市の広報
- 外国の方に教えるが、逆に自分の為になっている。
- 年寄りはおぼえがおそい
- 社協のお金があり
- 定年後 30~40年あるが、やることがない。
- コラボ活動が大事

- 不登校の子供の対応 えらい！続けて！！
- 男声にやさしく呼びかけて！！
- 自分が楽しむ事
- 求められる喜び
- 続けることの大切さ
- 男は弱い！！
- 60歳定年→人生85歳
- 65歳定年→100歳時代
- ライフワークが大切
- 現在85歳のジジイ
- 老人対応（25年）
- 声を出すことが元気のもと
- 継続はパワーなり
- 奥様のあとを追わない
- 続けることの大切さに気がつきました。
- 最初の一步・・・とても大変
- わたしを待っていてくれる人がいるという嬉しさは“生きている”
- いろいろお話が聞けて良かったです
- イベントのオファーがある。
- 他団体との交流をしてる
- 練習も本番も楽しむ
- 対面で伝える！！
- ワイワイと仲間を続けてこられた。
- やっぱり人が好き！！
- ご縁をきっかけに！！
- 体力も必要→きたえている
- 表情に出る。
- face to face
- ボランティアは勉強になる
- メカ、パソコンに強い方がいい
- セルフヘルプグループは、仲間と出会えるところは同じ経験をした

- 色々あるけど・・・今生きてる。
- 教えることは、教わることも、自分のためになっている
- 自分も生き生きするように楽しみましょう
- 自分のためになる
- ライフワーク大事
- 外国人の方も増えてきて、なじめない子どもいる・・・（多様性考えたい）

## 2.9.2. まとめ

### ① 人のご縁・つながり・対面の価値

#### 該当意見

- ご縁がつながる出会い
- やさしさの分かち合い
- やっぱり人が好き
- face to face／対面で伝える
- ワイワイ仲間を続けてこられた
- 他団体との交流

#### 要約

人と直接会い、語り合うことの価値を強く感じている。  
ご縁やつながりが活動の原動力となっている。

### ② ボランティアの意味・ライフワーク

#### 該当意見

- ボランティアって何だろう？
- 人のため／自分のため／楽しむため
- ライフワークが大切
- 自分のためになる
- 続けることの大切さ
- 継続はパワーなり
- 最初の一步は大変

#### 要約

ボランティアの意義を改めて問い直している。

「人のため」と同時に「自分の生き方」として捉え、継続することを大切にしている。

---

### ③ 高齢期・人生 100 年時代・生きがい

#### 該当意見

- 定年後 30～40 年ある
- 60 歳定年→人生 85 歳
- 100 歳時代
- 現在 85 歳
- 体力も必要→鍛えている
- 声を出すことが元気のもと

#### 要約

長い高齢期をどう生きるかを真剣に考えている。

健康維持と社会参加を両立し、元気に活動し続けたいという思いが強い。

---

### ④ 学び・成長・相互作用

#### 該当意見

- 人に伝えるための勉強
- 教えることは教わること
- ボランティアは勉強になる
- 外国の方に教えるが自分のためにもなる
- メカやパソコンに強い人が必要

#### 要約

ボランティアは「学びの場」でもある。

教える側も学び、互いに成長する相互的な関係が生まれている。

---

### ⑤ 子ども・不登校・外国人支援

#### 該当意見

- 不登校の子ども対応
- 外国人の子どもがなじめない
- 多様性を考えたい

#### 要約

不登校児や外国籍児童への支援に関心が高い。  
多様性を受け入れ、地域で支える仕組みづくりが課題と感じている。

---

## ⑥ 情報発信・広報・支援体制

### 該当意見

- 情報発信のススメ
- 広報
- 社協の資金支援
- イベントのオファー
- コラボ活動が大事

### 要約

活動を広く知ってもらうことの重要性を認識。  
行政支援や団体間連携が活動基盤になっている。

---

## ⑦ 自己肯定感・存在意義

### 該当意見

- わたしを待っている人がいる
- 求められる喜び
- 自分も生き生きする
- 今生きている

### 要約

「必要とされること」が大きな喜びと生きがい。  
ボランティアが自己肯定感や存在意義につながっている。

---

## 全体総括

テーブル9の自由意見から見える特徴は：

1. 人のご縁・対面交流を重視
2. ボランティアを“ライフワーク”として捉える意識
3. 人生100年時代の生きがいづくり
4. 学びと相互成長の場
5. 不登校・外国籍児童など多様性への関心

6. 情報発信と団体連携の重要性
  7. “必要とされる喜び”が活動の核心
-

### 3. 総合分析

テーブル1～9の自由意見を横断的に整理し、**共通テーマ・特徴・課題・今後の方向性**の4つの視点から総合分析しました。

---

#### 3.1. 全体傾向（最も多く見られたキーワード）

テーブル1～9を通して特に頻出したテーマは以下の通りです。

- ① 「楽しい」「うれしい」「ありがとう」  
→ 感情的充足が最大の原動力
  - ② 人とのつながり・仲間  
→ ボランティアは“関係づくり”の場
  - ③ 高齢期・人生100年時代  
→ 生きがい・健康維持としての活動
  - ④ 子ども支援・不登校・外国籍支援  
→ 次世代支援への強い関心
  - ⑤ 認知症予防・介護予防  
→ 高齢社会に対応した活動
  - ⑥ 継続の大切さ  
→ 「続けること」自体が価値
- 

#### 3.2. 横断テーマ別分析

---

##### 3.2.1. ボランティアの本質観

（テーブル1・7・9に特に顕著）

多くの参加者が

- 「人のため」
- 「自分のため」
- 「楽しむため」
- 「ライフワーク」

といった言葉を挙げています。

##### ◆ 特徴

- 他者貢献と自己実現が両立している
- “義務”ではなく“主体的選択”
- 人生後半の自己再定義の場

👉 ボランティアは「社会参加」から「人生設計の一部」へと深化している。

---

### 3.2.2. 高齢期の生きがい・健康維持

(テーブル 1・3・4・5・7・9)

頻出語：

- 人生 100 年
- 認知症予防
- ボケたくない
- 健康第一
- 83 歳・85 歳でも活動

#### ◆ 特徴

- 活動そのものが健康づくり
- 声を出す・話す・動くことの価値
- 「必要とされる」ことが活力源

👉 ボランティアは“予防福祉機能”を果たしている。

---

### 3.2.3. 子ども・若者支援の広がり

(テーブル 2・3・4・6・8・9)

内容：

- 不登校支援
- 学習支援
- 外国籍児童
- 若いボランティア増加
- 世代間交流

#### ◆ 特徴

- 「居場所づくり」重視
- 成長を見る喜び

- 若者参加を望む声
- 👉 次世代育成と高齢者の経験が結びつく構造が形成されている。
- 

### 3.2.4. 障がい者支援・専門性の高さ

(テーブル 1・2・4・7・8)

内容：

- 点訳・拡大写本
  - 手話
  - サウンドテーブルテニス
  - 白杖 SOS
  - 傾聴
- ◆ **特徴**
- 高度な専門性
  - 研修・学習意欲が高い
  - 地道で継続的
- 👉 「技術ボランティア」としての成熟段階にある。
- 

### 3.2.5. “楽しさ”が継続の鍵

(全テーブル共通)

共通語：

- 楽しい
  - 続けたい
  - 笑顔
  - 喜ばれた
- ◆ **分析ポイント**
- 楽しさがなければ続かない
  - 楽しさが仲間を呼ぶ
  - 楽しさが広報になる
- 👉 ボランティア推進の最大戦略は「楽しさの可視化」。
-

### 3.2.6. つながり・対面の価値（AI時代との対比）

（テーブル5・7・9）

- AIがライバル
  - face to face
  - 人の声を望む
- ◆ 分析

デジタル化が進む中で

“人間的接触の価値”が再確認されている。

👉 今後の方向性は「デジタル+対面の融合」。

---

### 3.2.7. 共通課題

横断的に見えた課題：

課題	内容
----	----

担い手不足	若い世代の参加
-------	---------

広報不足	活動を知らない人が多い
------	-------------

運営負担	人数増加で大変
------	---------

男性参加	男性に呼びかけ
------	---------

多様性対応	外国籍・障がい・不登校
-------	-------------

---

### 3.3. 総合的な特徴（全体像）

テーブル1～9を通じて見えるのは、

🌀 「地域内循環型ボランティア構造」

1. 高齢者が元気になる
2. 子どもや障がい者を支える
3. つながりが広がる
4. 仲間が増える
5. 地域力が高まる

という循環が形成されている。

---

### 3.4. 来年度に向けた戦略的示唆

#### ① 若者参加の入口づくり

- 体験型イベント
- 学校連携
- SNS 活用

#### ② 楽しさの発信

- エピソード共有
- 感謝の声の可視化

#### ③ 高齢者の専門性活用

- 技術ボランティア育成
- スキル継承

#### ④ 多様性対応強化

- 外国籍支援
- 不登校支援
- 男性参加促進

#### ⑤ 災害・地域連携強化

- 平時のネットワーク構築
  - ボラセン訓練活用
- 

### 3.5. 総括一文

テーブル 1～9 の分析から、

ボランティアは単なる支援活動ではなく、

**「人生 100 年時代の生きがい・健康づくり・地域循環の基盤」**

として機能していることが明らかになった。

そしてその核心は、

「楽しい」「ありがとう」「人とのつながり」

である。

---